

# 株式会社 是永商会 (製造業) の取組み事例：Next Growth～自走できるシステム開発～ 「社長ランチごちします。」

## 参加者

企業	社名	株式会社 是永商会
	業種	製造業
	事業概要	鋼材の加工・販売
	所在地 (都道府県・市区町村)	福岡県北九州市
	提供データ 種類/蓄積量	なし
参加した 受講生 の概要	チーム名	Team D
	チーム人数	4名(シマム,くまさん,makimaki,ひるろう)
	スキル・PR	多種多様なスキルを持ったメンバーがDX戦略プログラムを構築します。
	進める中で 工夫したこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業の詳細課題の理解</li> <li>受講生間のコミュニケーション</li> </ul>

## 実施概要

### 課題内容

#### n8nツールを活用した業務改善仕組みの試作・検討

- ・n8nの導入を検討しており、社員が自分で業務改善を行えるような仕組みを作りたいが、現状プログラミング等の知識に乏しく、検討すら難しいため、提案支援をお願いしたい。

### 実施した検討内容

#### 「社員が自走して業務改善できる仕組みづくり」をテーマに検討を進めた。

- ・現場・経理双方の負担を減らす業務フローの整理
- ・福利厚生費（食事補助）に関する現行運用と課題の整理
- ・完全自動化ではなく、人による確認を前提とした「半自動連携（Human-in-the-Loop）」の設計
- ・n8n を活用したノーコード/ローコードによる業務自動化の実現可能性検討
- ・将来的に社内で内製・改善を継続できる構成・運用方法の検討

### 検討の成果

#### 現場・経理双方の負担を抑えつつ、DX を段階的に進められる具体的な仕組み案 を作る事ができた。

- ・n8n を活用し、ノーコード/ローコードで業務自動化が可能であることを確認
- ・全データを経理システムへ即時連携しないことで、誤入力・過剰申請・税務リスクを抑制できる運用方針を明確化
- ・福利厚生費申請において、現場での入力負荷を最小限に抑え経理が最終確認を行う「半自動連携」の運用モデルを設計